

活動記録



豪州・ジャスティン・ヘイハースト 駐日大使と



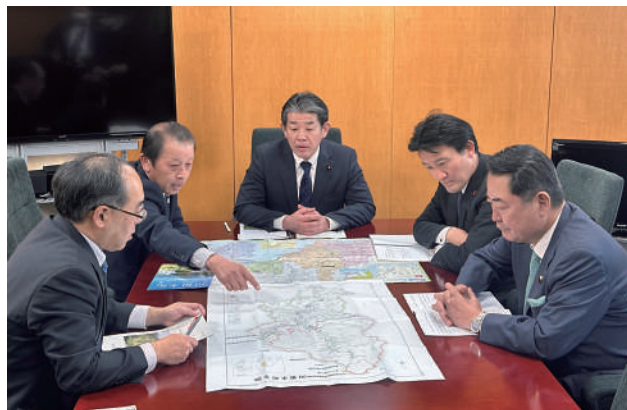
喜連川商工会役員・青年部の皆さんと



ツバル国の環境大臣&太平洋島しょ国の代表者と



栃木県木材業協同組合連合会・新春の集い



南アルプス国立公園について地元関係者と意見交換



栃木SC「2025キックオフパーティー」



鬼怒川温泉スプリングフェスティバル



「環境スタートアップ大賞」表彰式



自由民主党

日本を守る。成長を力に。

五十嵐清 国会通信

令和7年 春号

■国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館 915号室
 ■地元事務所 〒322-0024 栃木県鹿沼市晃望台25

■ホームページ <https://kiyoshi-igarashi.com/>
 ■発行所 自由民主党栃木県第2選挙区支部



日中ハイレベル経済対話にて

ごあいさつ

日ごろは、私五十嵐清の政治活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、**令和7年度当初予算の審議**では、少数与党の厳しい状況の中、国民生活に悪影響が及ぶよう野党の協力を得るため異例の2度にわたる修正を経て、ギリギリの年度内成立にこぎつけました。**衆院段階**では所得税の非課税枠「**103万円の壁**」の一部引き上げ、**高校授業料無償化**の対象拡大のための修正、**参院段階**では**高額療養費制度**の患者負担の引き上

第27回参議院議員通常選挙
自由民主党公認・候補予定者



たかはし かつのり
高橋 克法
参議院議員
国土交通副大臣

当選回数 2回(令和元年) 生年月日 昭和32年12月7日

経歴
 国土交通大臣政務官
 党 環境関係団体委員長
 高根沢町長(4期)
 県議会議員
 岩崎純三参議院議員 公設政務秘書

皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。心からお願い申し上げます。



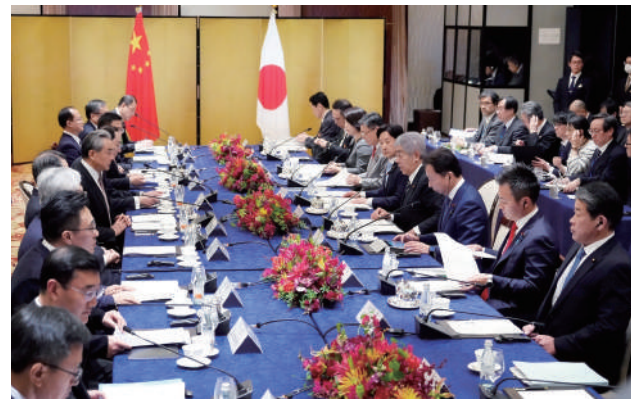
げの全面凍結という修正がなされましたが、野党要求は一部に財源などの制度の持続性や公平性をないがしろにした主張もあり、熟議の国会としては課題を残しました。結果としては、予算規模は一般会計総額**115兆1987億円**となり、2年ぶりに**過去最高を更新**しました。**物価高を上回る賃金・所得の向上**を継続し、**経済の好循環**を実現するため、本予算の着実な執行に努めます。

今後、国会の議論は重要法案や施策・事業に対象が移ります。特に、米トランプ政権による追加関税の影響をしっかりと見極め、**負担の大きい産業や業種について雇用維持や資金繰り支援**などを柱とした経済対策を実施するとともに、世界経済の下振れリスクに備え、**内需を拡大するための政策**を総動員することが重要になります。通常国会後半戦も、皆様の期待に応えるべく、全力で取り組んで参りますので、引き続きのご支援とご指導を

環境大臣政務官
衆議院議員

五十嵐 清

第6回 日中ハイレベル経済対話 in 東京



日程・場所 2025年3月22日(土) 15:15頃～(約2時間45分) 東京 【約6年ぶりの開催】

【参考】過去の開催実績(日中ハイレベル経済対話)

- 第1回 2007年 12月 1日 於:北京(議長:高村外務大臣、曾培炎副総理)
- 第2回 2009年 6月 7日 於:東京(議長:中曽根外務大臣、王岐山副総理)
- 第3回 2010年 8月28日 於:北京(議長:岡田外務大臣、王岐山副総理)
- 第4回 2018年 4月16日 於:東京(議長:河野外務大臣、王毅國務委員兼外交部長)
- 第5回 2019年 4月14日 於:北京(議長:河野外務大臣、王毅國務委員兼外交部長)

出席者



岩屋毅 外務大臣(議長) / 瀬戸隆一 内閣府副大臣 / 大串正樹 経済産業副大臣
古川康 国土交通副大臣 / 土田慎 財務大臣政務官 / 山本佐知子 農林水産大臣政務官
五十嵐清 環境大臣政務官 / 伊原和人 厚生労働事務次官 など



王毅 中央政治局委員・外交部長(議長) / 孫衛東 外交部副部長
趙辰昕 国家発展改革委員会副主任 / 廖岷 財政部副部長 / 于会文 生態環境部副部長
鄒東 商務部副部長 / 趙增連 海関総署副署長 / 謝少鋒 工業情報化部総工程師 など

議論の概要

(※主に経済・エネルギーや環境分野に関する内容を抜粋しています。)

冒頭、岩屋外務大臣から、日中経済関係の重要性に言及の上、経済分野での実務協力の推進には両国民の理解が不可欠であり、駐在員やその家族の安心・安全の確保が大前提となる、また、日本産農水産物の輸入規制の撤廃も極めて重要であり、今次対話を課題と懸案を減らし、協力と連携を深めていく機会としたい旨述べました。

双方は、それぞれの経済情勢やマクロ経済政策、財政政策等について議論し、日本側からは、経済の現状と当面の経済財政運営、日本経済・地方経済の成長に向けた取組等について説明しました。

双方は、五十嵐環境大臣政務官の発言も踏まえ、「**戦略的互惠関係**」の下での経済分野での実務協力について議論し、グリーン経済の分野において、昨年11月に東京で**日中省エネルギー・環境総合フォーラム**が開催されたことを歓迎し、次回フォーラムを年内に北京で開催することで一致しました。また、**第26回日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM)**と併せて開催される次回の**日中環境ハイレベル円卓対話**に向けた協力を確認するとともに、両国の理解促進と関係強化に資する**若手人材の交流**や両国企業の**技術協力**に取り組むことで一致しました。さらに、2027年に横浜市で開催される**GREEN×EXPO 2027**の成功に向けた協力を確認しました。

また、地域・マルチでの協力についても議論を行い、「**昆明・モントリオール生物多様性枠組**」を共に推進することを確認したほか、**気候変動に関する取組の重要性**、**プラスチック汚染に関する条約交渉**の妥結に向けた努力、**海洋ごみ**に関する両国の取組を共有していくことを確認しました。

双方は、双方の都合のつく適当な時期に、中国において、第7回日中ハイレベル経済対話を開催することで一致しました。



ペータースベルク気候対話2025 inベルリン



日程・場所 2025年3月25日～26日 ドイツ連邦共和国・ベルリン

主催 ドイツ連邦共和国・ブラジル連邦共和国

出席者

ドイツ連邦共和国、ブラジル連邦共和国(UNFCCC-COP30※議長国)、先進国・途上国の閣僚級、UNFCCC事務局長等(計38カ国)。我が国から代表として、**五十嵐環境大臣政務官**が出席。

UNFCCC…

国連気候変動枠組条約の略称。1992年5月採択、1994年3月発効。
締約国数:198か国・機関。京都議定書やパリ協定は本条約に基づく。

COP30…

第30回締約国会議の略称。開催頻度は各条約によって異なる。
UNFCCCについては、1995年から毎年COPが開催されている。

議論の概要

本会議は、**今年秋にブラジルで開催されるCOP30に向けた最初の閣僚級会合**であり、また、世界全体の気候変動対策を前に進めることを再確認する重要な会議です。今回、**COP30への期待、1.5℃目標に整合するNDC(各国の温室効果ガス削減目標)**、パリ協定の長期目標に向けた気候変動対策やソリューションの加速、1.3兆ドルに向けた**気候資金**、COPプロセスと将来の気候ガバナンス、グローバル・ストックテイクの実施、適応と強靱性の構築等について、閣僚級の議論が行われました。

我が国は、五十嵐環境大臣政務官から、**COP29の気候資金やパリ協定第6条の合意を歓迎**するとともに、COP30では、**緩和、適応、実施手段のバランスの取れた成果**となることの期待を述べました。また、1.5℃目標の実現に向けた我が国の**これまでの着実な排出削減実績**や、2月に策定した**新たな日本のNDC**の実施に向けた決意、**新たなNDCの未提出の国に対する提出の呼びかけ**、我が国の**途上国に対する支援継続**に向けた決意等を述べました。

さらに、五十嵐環境大臣政務官は、**ドイツ連邦共和国**のヴェンツェル経済・気候保護省政務次官、ティドゥ環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省事務次官や、**アゼルバイジャン共和国**のパバエフ気候特使(**前回COP29議長**)など各国の閣僚級・次官級等と個別に**二国間会談**を行いました。また、**ポツダム気候影響研究所**を訪れ、エデンホーファー所長と**最新の科学的知見や今後の気候変動対策について意見交換**を行いました。

我が国は、今後も**気候変動・環境政策に関する国際協調**を進めて参ります。



ドイツ・シュolz首相と各国環境大臣等



アゼルバイジャンとの三国会談



ハイレベルセッションの様子



日本代表として会議に出席



ドイツ環境省の事務次官との会談



ポツダム気候影響研究所を訪問